

労働条件等自主点検表

施設名称	沖縄美ら海水族館	対象年度	令和3年度
指定管理者名	一般財団法人 沖縄美ら島財団		

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所には○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果																									
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職(解雇の事由を含む。)については、書面を交付しなければなりません[労働基準法(以下「法」といいます。)第15条]</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																					
	1	2	3	4	5																					
(3～5については、改善が必要です)																										
<p>2 就業規則 就業規則(労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職(解雇の事由を含む。)等、労働条件の具体的細目を定めた規則)を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者(パートタイム労働者を含む。)を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません(法第89条) また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません(法第106条)</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																								
	1	2	3	4	5																					
(3～5については、改善が必要です)																										
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません(法第35条)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">週休2日制</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">週休1日制</td> <td style="text-align: center;">その他</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">完全(毎週)</td> <td style="text-align: center;">月3回</td> <td style="text-align: center;">隔週</td> <td style="text-align: center;">月1～2回</td> <td style="text-align: center;">週1日</td> <td style="text-align: center;">4週4日</td> <td style="text-align: center;">4週3日以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </table>						週休2日制			週休1日制		その他	完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	1	2	3	4	5	6	7
週休2日制			週休1日制		その他																					
完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																				
1	2	3	4	5	6	7																				
(7については、改善が必要です)																										

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
①	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

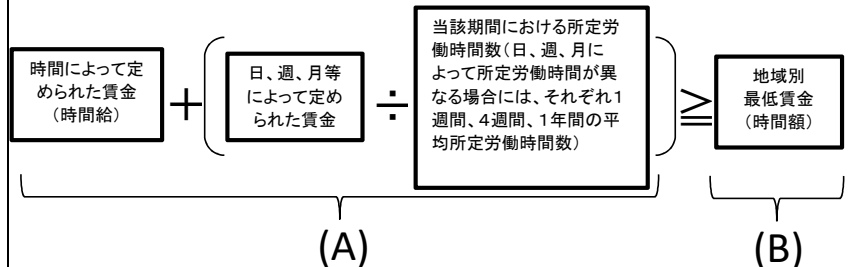
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
①	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険加入従業員数	うち雇用保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	279	279	0

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	雇用される労働者は全て加入している

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(令和4年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

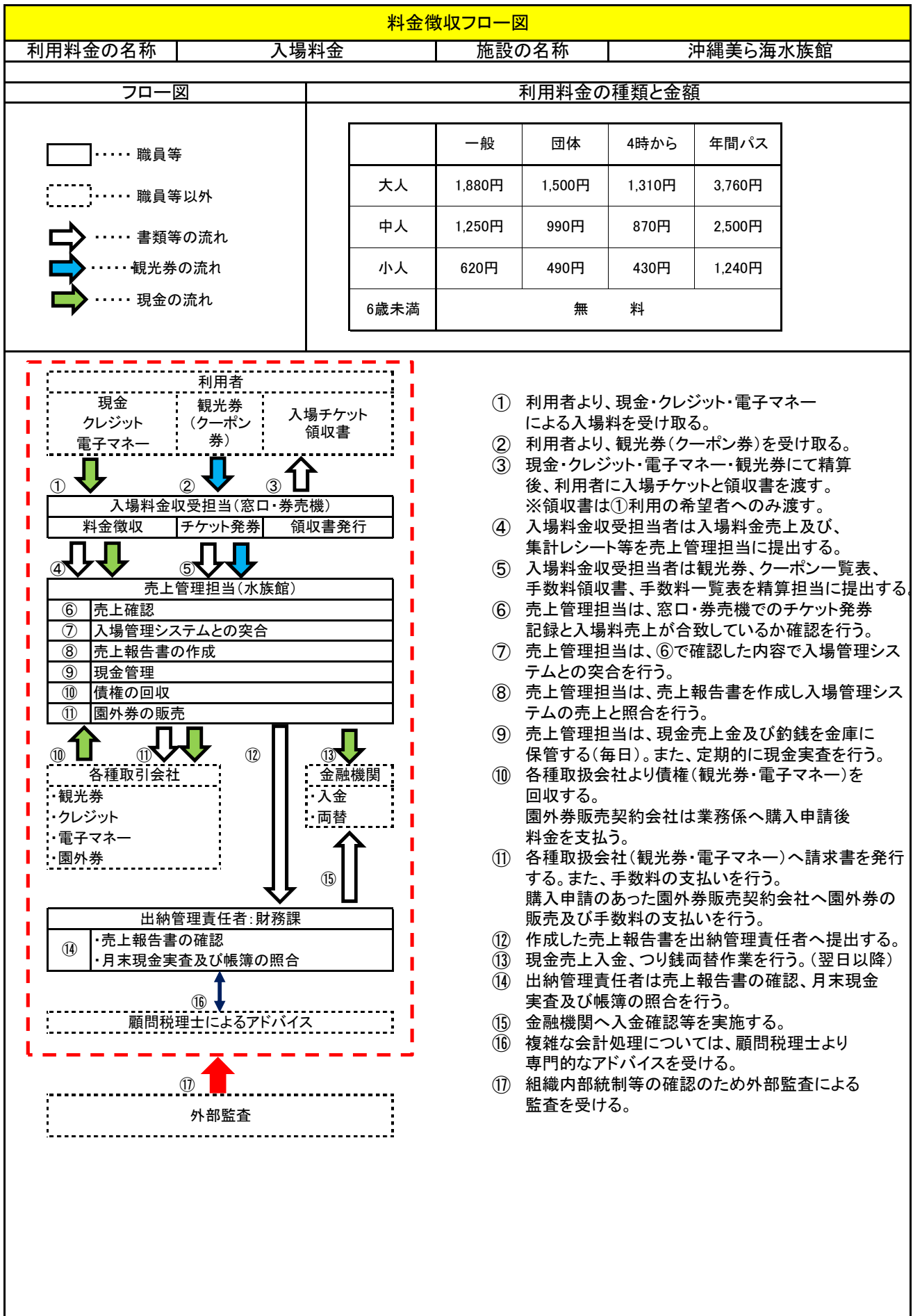
9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険加入従業員数	うち健康保険未加入従業員数	うち厚生年金保険加入従業員数	うち厚生年金保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	279	268	11	265	14

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	加入要件を満たしている方は全て加入としている

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	加入要件を満たしていない方は未加入としている

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(令和4年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。



指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県国営沖縄記念公園内施設 (海洋博覧会地区内施設)	対象年度	令和3年度
------	--------------------------------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 施設維持管理		
1) 維持修繕・保守点検		
2) 清掃		
3) 植物管理		
(2) 大規模修繕		
(3) 防犯・防災対策		
1) 安全点検		
2) 事故・災害防止		
(4) 利用者案内・警備		
(5) 料金收受		
(6) 飼育展示		
1) 水族館内		
2) 海獣施設		
(7) 生物等管理		
1) 水族館内		
2) 海獣施設		
(8) 備品購入		
2. 運營業務	8
(1) 利用実績		
1) 利用者数等		
2) 教室(普及啓発)・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 調査研究		
(4) 飲食・売店営業		
1) 飲食施設等		
2) 物販施設等		
3) 自動販売機及びコインロッカー		
4) 記念写真の撮影販売		
5) 展示生物とのふれあい体験		
(5) 広報・誘客		
(6) 受付・接客		
(7) 情報管理		
3. 自主事業	18
II. サービスの質の評価	21
1. 維持管理業務		
2. 運營業務		
3. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)	23
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	26
1. 目標		
2. 評価結果		

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県国営沖縄記念公園内施設(海洋博覧会地区内施設)	対象年度	令和3年度
指定管理者	一般財団法人 沖縄美ら島財団 指定期間:平成31年2月～令和5年1月	所管課	土木建築部 都市公園課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 施設維持管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1) 維持修繕・保守点検 建物、園路広場、電気設備、汚水・排水施設等について、所要の目的が果たされるよう、日常、適宜巡回点検・保守点検し、常に安全で良好な状態にあるよう、利用の状況に応じて破損箇所を軽微な補修又は補充を適切に行うとともに、省エネ製品の導入や省エネ活動により、総電気量の削減に努める。また、給水施設や電気設備の使用量を計測し記録を行う。施設の安全を確保するよう管理を確実にを行い、国事務所が実施する公園整備(新規・改修)工事および及び公園調査等の協力、立会い等を行う。	○	○	<p>【運転監視】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央監視盤にて、飼育設備、デマンド及び空気調和設備等の監視を行う等、日々の安全運転を確保した。また開場に向けて、照明点灯や空調機・昇降機等の稼働等を点検した。 飼育設備等、夜間の機器運転監視や不測の事態への対応のため監視員の配置を行った。 水族館内の巡視や必要に応じて空気環境測定等を行い、空気調和設備運転員との連携を図り良好な環境を維持した。 <p>【建物・設備・工作物点検及び修繕】</p> <p>巡視又は定期点検(法令点検含む)を行い、不具合の発見や発生があった場合には個所の修繕を迅速、かつ適切に行った。</p> <p>【水槽の保守】</p> <p>アクリルの傷や劣化、水槽からの水漏れについて、巡視等による点検を行った。「黒潮の海」水槽メインパネルの水槽内擦り傷について、魚類課により簡易研磨を実施し、水漏れについては補修方法等の情報交換を施工メーカーと行った。</p> <p>【水質管理】</p> <p>展示に影響の無い水質及び透明度を確保できるよう、ろ過器・ポンプ等の運用基準を定め運用した。また、ろ過器の逆洗運転・「黒潮の海」給餌後の水槽内濁り復旧のため、海水補給水ポンプを運転した。</p> <p>【点検記録の作成保管】</p> <p>巡視又は定期点検を行い、不具合等の発見や発生があった場合には、当該個所の修繕を迅速かつ適切に行った上、点検記録の作成保管を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 設備日報、月報及びヒアリングで確認した。 黒潮の海水槽メインパネルの水槽内擦り傷の簡易研磨について年度報告書及びヒアリング、現地で確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務計画書の通り適切に実施されている。 「黒潮の海」水槽メインパネルからの水漏れについては、微量であり現時点では利用者への影響は少ないもの、原因特定や補修方法等の検討を進めていた。 修繕については、大幅な収入減少に伴い、優先順位を付けて実施の可否について判断していた。 築20年を迎える水族館の今後の維持管理に向けて維持管理費用の収入の確保を図る必要がある。 	

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>2) 清掃 常に清潔を保ち快適な環境を保持するため、建物清掃(建築物ねずみ昆虫等防除作業等の法令作業含む)及び植栽地等清掃は、年間清掃実施計画(建物、植栽地)及び実施工程表にもとづき実施する。実施にあたっては、利用頻度等を考慮し、運営上必要な臨時清掃や特別清掃を行う。更に、園路の塵芥、空き缶及び土砂等の除去、雨水等による汚れを掃除し、必要に応じて水洗浄を行う。また、館内等混雑時、イベント時、荒天時及び感染症対策等にも迅速に対応できる体制を確保し、運営に支障がないよう清掃等を行う。</p>	○	○	<p>【日常清掃】 場所・部位別に防塵、掃き掃除、拭き掃除、ゴミの収集や衛生消耗品の補充や管理等の日常的な作業を行い、汚れの除去を行った。</p> <p>【日常巡回清掃】 開場中において場所・部位別に防塵、掃き掃除、拭き掃除、ゴミの収集や衛生消耗品の補充や管理等を日常清掃後に巡回しながら行い、汚れの除去を行った。その他、感染症対策等として、手摺の除塵と消毒、手指消毒液の残量確認と補充・取替え、汚物処理の適宜対応と適正処理、アクリルガラスの部分拭きを行った。</p> <p>【定期清掃】 場所・部位別に、週、月又は年単位の周期で定期的に行う清掃を実施した。</p> <p>【塵芥回収】 施設内のゴミ集積所の塵芥を回収し、本部町今帰仁村清掃施設組合が指定する方法で分別したのち、本部町今帰仁村清掃施設組合まで運搬・持込みし処理した。</p> <p>【臨時清掃】 上記に含まれない臨時の清掃として、館内の壁や天井の埃落しを行った。</p> <p>【ねずみ等の防除(予防と駆除)】 食品等を扱う区域、排水槽、阻集器および廃棄物の保管設備の周辺等にねずみ等が発生しやすい箇所の、生息状況の調査実施を行った。</p> <p>【植栽地等清掃】 公園利用者の利用頻度の高い箇所について、園路は開園前の時間帯はプロア等を用い清掃した。芝地及び園地は塵芥、空き缶及び空瓶等を除去し、必要に応じて掃き掃除を実施した。季節や荒天に左右される落葉や、時間帯や場所等、利用者の動向により左右されるゴミの発生状況を把握し、効率的な清掃を行った。集積したゴミは適切に処理した。落葉等の植物発生材はエコフレームに搬入し、景観的に影響が少ないものは、植栽地内へ掃き込んだ。園路広場及び側溝等の塵芥、空き缶、空瓶及び土砂等の除去及び雨水又は車輛等による園路広場の汚れを掃除した。併せて、園内のベンチ、テーブル、ゴミ箱及び灰皿等の掃除を行った。</p>	<p>・管理日誌、月報を確認した。 ・現地にて状況を目視確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を含め、良好に実施されている。 ・大幅な収入減少に伴う経費節減を行いながらも、良好な状態を維持できている。 ・今後も感染拡大防止対策は必要となることを見込まれるため、必要な対策を適宜実施していくことが必要となる。</p>

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
3) 植物管理業務 利用者の安全確保・緑陰形成・景観向上・開花時期等に十分に配慮し実施する。実施にあたっては年間植物管理計画にもとづき行う。	○	○	<p>【花壇管理】 フラワーボール、プランター、造形物花壇、臨時花壇等植え付けを行った。</p> <p>【芝生管理】 周辺の芝生地において芝刈り、施肥、目土、除草、灌水を行った。</p> <p>【地被植物管理】 水族館の屋上緑化の除草、刈取りを行った。</p> <p>【樹木管理】 高木・中低木の枯損木撤去を行った。 既存植物を痛めないよう植込地除草を行った。</p> <p>【観葉植物】 館内外の観葉植物等の入れ替え、手入れ、タッチプール周辺の植物の入れ替えを行った。 休業期間においても、清掃頻度の見直しを行い、清掃等を行った。</p> <p>【壁面装飾】 ラン等で壁面へ装飾(植物の手入れ等含む)を行った。</p> <p>【その他】 多年草植え付け、植物性発生物の処理等を行った。 プランターの移動、臨時花壇の設置、花がら摘み、枯死株の入れ替え等を実施した。台風対策として、強風から草花の損傷を防ぎ保護するため防風ネットで覆い、また、開場や利用者の安全管理に支障の恐れがある場合には、看板撤去等の作業を行った。</p>	<p>・月報及び日報で実施状況を確認した。 ・現地にて状況を目視確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施されている。 ・大幅な収入減少に伴う経費削減において、植物の種類を変更する等適切に対応されていた。</p>

(2) 大規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
本施設の建物、工作物、飼育・電気設備の構造及び状況を理解・把握し、計画立案から工事監理までを一元的に管理できる体制を整え、国の大規模修繕計画を踏まえ策定した「大規模修繕計画」に従って実施する。	○	○	<p>県と協議を行い策定した大規模修繕計画に基づき以下のとおり、6件の工事を実施し、うち5件は年度中に完了した。 その他、劣化部品等の部分交換・取替え管理水準やサービス水準を維持向上させるために必要な、部分補修・部品交換等や施設の修繕を実施した。</p> <p>①令和2年度 非常用発電所 発電機盤デジタルコントロールユニット更新 ②令和3年度 非常用発電所 発電機設備点検・修繕 ③令和3年度 水族館 エスカレーター整備 ④令和3年度 水族館 ろ過装置(取水ろ過器)ろ材洗浄 ⑤令和3年度 水族館 飼育用ろ過ポンプの整備 ⑥令和3年度 オキちゃん劇場 オキちゃん劇場の長寿命化に伴う調査及び補修設計(令和4年度継続実施)</p>	<p>・事業計画書、「大規模修繕修繕計画」及び報告書、現場写真ヒアリング等で実施を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・大幅な収入減少に伴い、大規模修繕計画の見直し等が必要となったが、施設・設備の劣化状況や利用者への安全等の確保を踏まえて、国との協議の上、計画変更を行った。 ・国や県の工事・設計基準等を遵守しながら工事が適切に実施されている。 ・令和4年度以降においても、良好な公園施設を維持するため、計画に基づきながら、大規模修繕業務の実施が計画されている。 ・水族館は築20年を迎えており、今後の修繕費用の確保が出来るよう収入の確保を図る必要がある。</p>

(3) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1)安全点検 法令に基づく点検に加え、自主的に管理する項目を定め施設の安全点検を徹底する。	○	○	法令に基づく点検に加え、自主的に管理する項目を定め施設の安全点検を下記の通り徹底して実施した。 ・建築保全業務共通仕様書等に基づき、設備機器の点検を実施。 ・法令や建築保全業務共通仕様書等に定めのない設備機器等については、自主管理の点検要領を定め点検を実施。 ・消防法に基づき点検等を実施。 ・法令等に基づき、要求される点検や資格を特定の上、有資格者による点検を実施。	・月報により確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	・良好に実施されている。
2)事故・災害防止 防犯・防災については、国営沖縄記念公園防災計画等(危機管理マニュアル)に基づき、事件・事故・自然災害等予防の取組みを行う。 ・施設の使用状況を監視モニター及び入場者管理システムを活用し適宜把握する。館内滞留者数が約2,000名を越えた時点で「注意体制」、約2,500名を越えた時点で「入場規制」を実施する。 ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況に合わせ、上記「入場規制」の滞留者数は、3密対策を考慮した人数で設定し、規制実施数の約8割を超えて時点で「注意体制」とする。 ・事故や災害が発生した場合は、体制を確立し、迅速かつ的確に情報を伝達、利用者の安全確保、避難誘導等を行う。負傷者が発生した場合は、迅速にその救済・保護の処置をとり、本施設設備に瑕疵があった場合は速やかに県に報告する。	○	○	<p>●事故・災害防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視モニター及び入場者管理システムを活用し、施設の利用状況を適宜把握した。 ・新型コロナウイルス感染予防ガイドラインを感染状況に合わせ、滞留者数が800名を超えた時点で「注意体制」とし、1,250名で「入場規制」とした。 ・注意体制で北駐車場を封鎖し、他の公園駐車場へ分散。また、蛇行入場で入場者数を緩やかにし、館内滞留者に注視した。一時的に混雑する時間帯があったが、入場規制を実施するまでには至らなかった。 ・館内の密集する箇所には、自動音声センサーを設置し、密集回避に努めた。 ・コロナ禍の救護対応マニュアルに基づき、軽微な怪我の処置は絆創膏を手渡すなど接触を避けた対応とした。また体調不良者には近隣の医療機関案内図を配布するなど適切に対応した。 ・負傷者が発生した場合は、迅速にその救済・保護の処置をとり、救急車要請があった場合は速やかに沖縄県に報告した。 <p>救護対応:51件 (内救急車要請:3件)</p>	・月報及びヒアリングにより確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	・良好に実施されている。
			<p>●消防訓練等</p> <p>定期的に水族館職員に対し災害対策訓練を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/20 情報伝達訓練(安否確認) ・11/2 非常参集訓練を実施 ・11/5 沖縄県広域地震・津波避難訓練 ・11/5～19 消防部分訓練 ・12/1～2 エレベーター閉じ込め事故発生時の救出訓練 ・12/6 消防総合訓練 ・12/7、14、21 普通救命講習会(心肺蘇生・AED・救急車要請手順) ・2/6 津波警報対応基礎訓練(夜間体制) ・2/20 夜間部分消防訓練 	・月報及び実施報告書、ヒアリングにより確認した。	・業務計画書以上に実施されている。	・良好に実施されている。 ・今後も定期的に訓練や講習会を継続実施し、緊急時に備えてもらいたい。

(4)利用者案内・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①館内・屋外案内員の配置 子供や障害者等の弱者及び外国人を含めたすべての利用者が快適に楽しめるよう施設や接客など、教育を受けた案内員を配置し、接客にあたる。	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して券売・改札・案内員・警備員を配置し、料金収受、案内業務、場内整理、警備・巡視、駐車車両の誘導を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による休場(5/23～7/11、7/22～9/30)のため、案内員の配置を減とする等、適正な配置を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 日報及び案内員配置表を確認した。 ヒアリングにより館内の巡回案内を実施していることを確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施されている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館等に伴い、コスト削減と効率的な人員配置に取り組んでいる。
②駐車場運営 適切な情報提供と誘導 混雑時対応 緊急時対応	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の満空情報をカーナビ(vics)等へリアルタイムで提供した。 駐車場各所に警備員を配置し、警備、誘導を実施した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言に基づく休場期間や国、県のまん延防止等重点措置等の影響により、水族館の来場者が極端に減少したため、警備員の配置を減とする等、適正な配置を行った。 駐車場内での事故発生については、自損事故(車両同士の対物事故)等。R3年度 事故処理件数(17件) 人身事故、施設破損等はなし。 	<ul style="list-style-type: none"> 月報(別紙2-③警備・駐車場運営業務報告)において実施状況を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施されている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館等に伴い、コスト削減と効率的な人員配置に取り組んでいる。

(5)料金収受

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県国営沖縄記念公園内施設の設置及び管理に関する条例第10条、第11条に基づき、入場料の収受に関する業務及び入場料の減免に関する業務等を実施する。 適切な経理管理 	○		<ul style="list-style-type: none"> 法令、条例、定款及び会計規則に基づき適切に利用料金の徴収及び管理を行った。 入場管理システムを運用し、チケット発券・入場者カウント・入場料売上を管理した。 観光券(クーポン・パウチャー)の実施要領等を定め、旅行会社との契約を締結し料金精算等を実施した。 年間パスポートの発行等、年間パスポートシステムの運用、料金精算、保有者特典の設定、更新等を行った。また、臨時休館に伴い有効期限の延長措置を実施した。 クレジットカード及び電子マネー契約による利用受入れ、料金精算(料金授受)、利用手数料の支払いを行った。 毎月現金実査を行い、期末には監査法人の確認を受け、金庫内の現金管理に問題がないか確認作業を徹底して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 料金徴収フロー図のとおり実施されていることをヒアリングにより確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務計画書および料金徴収フロー図の通り適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施されている。

(6)飼育展示

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>1)水族館内 本施設のメインテーマである「沖縄の海との出会い」を基本に、「南西諸島・黒潮の海」の多様な生物の生態を正しく理解し、来館者が学習・体験できる展示構成とする。また、熱帯の華やかさと黒潮の躍動感に育まれた沖縄の海的美しさを展開することを目的として、世界規模の大型水槽を中心とした大型貴重種の飼育展示を行う。</p> <p>更に、繁殖による効果の高い展示、解説等による情報伝達を行い、動物倫理にも十分考慮した生物と親しむ教育プログラムとして提供することで、環境学習の場として利活用し、利用者の満足度向上及び利用促進に努める。</p>	○		<ul style="list-style-type: none"> ・南西諸島の海洋生物を中心に約上半期700種、11,000点、下半期約680種、10,000点の展示を行った。 ・「黒潮の海」大水槽では、世界唯一となるオニイトマキエイの展示を行ったほか、世界最大の大きさを誇るジンベエザメやナンヨウマンタの複数展示を行うとともに、飼育困難種であるホウライザメの展示を行った。 ・6/17にメスのジンベエザメ1個体の死亡が確認された。 ・「サンゴの海」では、20年連続となった槽内産卵の様子をSNSやHPにより公開した。また産卵時間を昼間に行われるように調整し、その様子をSNSで配信した。 ・深海域の生物では、ホクロキンチャクフグ等の世界初展示や、当館で独自開発した人工子宮装置を用いたヒレタカフジクジラの胎仔の展示を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示施設の目視確認を行なった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画書の通り適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界初や唯一の展示など、積極的な生物の導入を継続し、新規展示が実施できている。また、調査研究の成果を踏まえた展示も適切に実施できている。 ・次年度も新型コロナウイルス感染症などの動向を見ながら、引き続き利用者に沖縄の海の生物多様性や生態等を学習・体験できる企画や展示の機会を提供していただきたい。 ・解説については、新型コロナウイルス感染症の影響によりコロナ禍前とは異なり、アプリでの情報提供や混雑緩和のためにスポット的な対応を実施している。
<p>2)海獣施設 海洋生物の特性・能力といった生態に関することを学び、体感できるとともに、生態保護・繁殖等の海洋環境への理解を深めてもらうことを目的として、海生哺乳類、ウミガメ類及びメキシコ政府より寄贈され、飼育・繁殖を行っているマナティーの飼育展示を行う。</p> <p>更に、繁殖による効果の高い展示、解説等による情報伝達を行い、動物倫理にも十分考慮した生物と親しむ教育プログラムとして提供することで、環境学習の場として利活用し、利用者の満足度向上及び利用促進に努める。</p>	○		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための休館に伴いイルカ水上ショーも中止したが、この期間中でもショーと同様の時間帯に訓練などの実施し、イルカの健康管理に努め、ショー再開に向けて取り組みた。 ・感染拡大防止対策を実施した上で、10/1からイルカ水上ショーを開始したほか、イルカ、マナティー及びウミガメ体験プログラムを実施し、総参加者数が52,297人で、前年度比約110%であった。 ・マナティー館では、6/16に産まれた仔マナティーを10/15から一般公開した。 ・ウミガメ館ではアカウミガメ、アオウミガメ及びタイマイの同季繁殖に成功し、生まれた子ガメを活用し近隣の小学校と連携した環境教育プログラムを実施した。 ・オキちゃん劇場やイルカラグーンでは、国内では事例の少ないオキゴンドウの繁殖に成功し、イルカショー等で公開するとともに、当財団初の人工授精を行ったバンドウイルカの出産に向けて準備した。 ・動物福祉に関する調査研究が(行動変容法を用いた飼育下ユメゴンドウにおける攻撃行動の抑制の一例、動物園水族館雑誌63巻3号)、令和3年度の日本動物園水族館協会「技術表彰」を受賞し、飼育個体の福祉向上と、体験プログラムへの参加に貢献した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月報及び日報で、実施回数や参加人数等の記録を確認した。 ・マナティー館の開館状況、仔マナティーの実施し、イルカの健康管理に努め、ショー再開に向けて取り組みた。 ・利用者の満足度については、現場の反応も良く、アンケート等でも高い評価をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画書の通り適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育動物において適切に健康管理及び良好な飼育展示が実施されている。

(7)生物等管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1)水族館内 飼育生物の適切な飼育、繁殖を実施するために、動物の健康状態を十分に把握し健康管理に努めるとともに、常に良好な状態で飼育、育成、繁殖等を行う。また、安定的な生物展示のため、計画的な補充に努め、自然界からの捕獲収集は最小限にとどめるため、希少種、水産資源重要種等の飼育下繁殖に努める。	○		<ul style="list-style-type: none"> 飼育生物の健康に十分配慮し、飼育環境の維持に努め、良好な飼育ができた。特にジンベエザメ等の大型板鰐類については、定期的に超音波画像診断、採血や計測により、健康状態の維持に努めた。 展示の質の維持および向上のため、漁業者と連携し、計画的な補充に努めたほか、ヒョウモンオトメエイ等の魚類、ミドリイシ属等のサンゴ類、ツマリコシオリエビ等の甲殻類およびミズクラゲ等のクラゲ類など約30種の繁殖に成功。 独自に開発した人工子宮装置を用いて混獲された深海ザメの胎仔育成を実施し、装置はサメ博士の部屋に一般公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> 飼育日誌、月報を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務計画書の通り適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施されている。 飼育生物の健康状態を把握し、適切に健康管理に努めている。 育成、繁殖等についても、計画通りに実施されており、ナンヨウマンタの繁殖に向けた取り組みも実施している。
2)海獣施設 飼育生物の適切な飼育、繁殖を実施するために、動物の健康状態を十分に把握し健康管理に努めるとともに、常に良好な状態で飼育、育成、繁殖等を行う。また、安定的な生物展示のため、計画的な補充に努め、自然界からの捕獲収集は最小限にとどめるため、希少種、水産資源重要種等の飼育下繁殖に努める。	○		<ul style="list-style-type: none"> 飼育生物の血液検査や体重測定等を定期的実施し、良好な飼育ができた。特にオキゴンドウやマナティーについて、エコー検査等により胎児の成長等のモニタリングを行い、出産や人工哺乳による育成に成功した。 人工授精をおこなったバンドウイルカのエコー検査等を実施し、出産に備えた。 ウミガメ類においては、アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの繁殖に成功し、生まれた子ガメの育成を適正に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 飼育日誌を確認した。 主要事例として、飼育海獣に関するモニタリングの状況を電子カルテを用いて確認した。 マナティー、イルカの妊娠、ウミガメの繁殖についてヒアリングで確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務計画書の通り適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 飼育動物の健康状態を把握し、健康管理に努めている。 各種の繁殖についても計画通りに実施されている。

(8) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要に応じ、予算の範囲内で購入	○		支出:光熱水費・雑費等 ●AEDトレーナーセット、無線LANアクセスポイント、オキゴンドウ用担架シート、デジタル台はかり、サイドテーブルワゴン 他 計:807,510円	<ul style="list-style-type: none"> 備品台帳を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務計画書の通り適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施できている。 備品台帳に登録し、使用にあたっては適切に保管・使用している。

1. 維持管理業務 取組改善案	<ul style="list-style-type: none"> 概ね良好に実施できている。 引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施し、利用者の安全・安心を確保しつつ、満足度向上に向けた維持管理・飼育展示が出来るよう指定管理者と連携した取り組みを実施していく。
--------------------	--

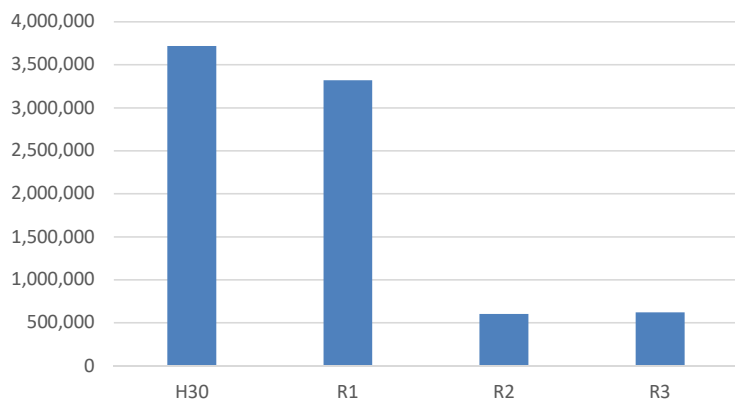
2. 運營業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		令和2年実績	事業計画 (目標値)	令和3年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	565,154	-	555,893	98.4%	-	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館日数が前年度を上回る等の影響により、入場者数は目標値に達しなかった。 ・前年度と比較すると増加しているが、コロナ渦前に比べると大幅に減となっているため、引き続き利用者増加に向けた取り組みが必要である。 新規イベント(オンラインイベント等)の開催や昨年度は新型コロナウイルスの影響により中止になったイベントが再開されたことにより増加している。
	団体利用者数	37,349	-	64,222	172.0%	-	
	合計	602,503	1,660,000	620,115	102.9%	37.4%	
	教室・イベント参加者数(内数)	4,878	-	10,720	219.8%	-	
※県の指定管理者制度導入施設に係るモニタリング評価の方針に従い、評語を付さず「-」とする。					評価(①利用状況)	-	

沖縄美ら海水族館年度別入場者数実績(H30~R3)

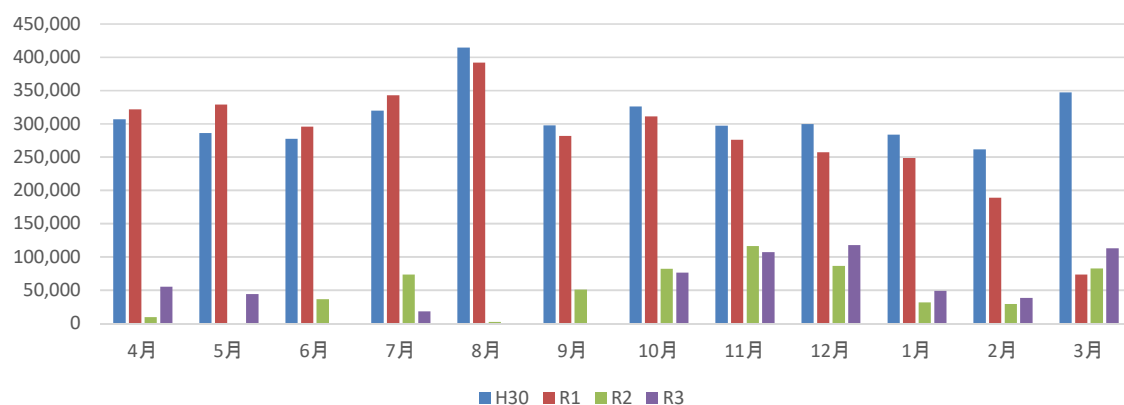


【評価基準(①利用状況)】

- 目標値に対する達成率
- S : 110%以上
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館要請に伴う休館日数
 R1:R2.3.2~15 (14日間)
 R2:R2.4.7~5.31、R2.8.2~9.5(90日間)
 R3:R3.5.23~7.11、R3.7.22~9.30(121日間)

沖縄美ら海水族館月別入場者数実績(H30~R3)



2) 教室(普及啓発)・イベント等参加者実績

	内容	令和2年実績	事業計画	令和3年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
教室	【インタビュー学習】 県内外の学校や教育関連団体からの質疑応答に対応する。	【遠隔・メール対応】23件242名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。(10件)	12件144名	52%	120%	・新型コロナウイルス感染症の影響で来館できない学校団体からオンラインやメール等での依頼が増えている。 ・引き続き全国の学校からの利用増に向けて対応する必要がある。
	【バックヤード見学】 水族館の裏側を見学し、飼育員の作業現場や水族館の設備について学ぶ。	20件349名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。(25件)	19件297名	95%	76%	・新型コロナウイルス感染症の影響で来館できない学校団体が増えキャンセルが多かった。 ・今後も感染状況を見ながら受入れ人数を調整し(現在最大20名)実施していく必要がある。
	【講師派遣】 水族館の役割や飼育員のお仕事、生き物について講話する。	【遠隔】9件661名 【園内】2件21名 【園外】10件375名 合計21件1,057名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。(5件)	14件547名	67%	280%	・オンラインと館内で対応している。 ・引き続き県内外学校の利用増に向け取り組む必要がある。
	【オンライン講座(有料)】 スライドや標本等を使い、生き物の生態等についてオンラインで職員から学ぶ。	-	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。(1件以上)	13件955名	-	1300%	・普及啓発と収益プログラムとして実施した。 ・学校や医療、福祉機関等を除く、一般向けに良好に実施されている。
	【生きもの観察プログラム】 生体や標本等を使い、生き物の生態について学ぶ。	【遠隔】44件1,758名 【園内】10件436名 【園外】10件322名 合計64件2,516名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。(10件)	8件647名	12.5%	80%	・新型コロナウイルスの影響が続き、実施件数が伸びなかった。 ・次年度も感染状況に応じて中止/実施の判断を検討する必要がある。
	【遠隔授業】 全国の病院・特別支援学校を対象に、生体や標本等を使い、生き物の生態について学ぶ。	-	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。(20件)	91件1,796名	-	455%	・前年度は「生き物観察プログラム」として実施していたが、申込件数が多く、オンラインに特化した新プログラムとして今年度から実施した。 ・前年度の取り組みが広く波及し、全国の医療機関等から申し込みがあった。 ・次年度も継続して取り組むよう努める。
	【触察プログラム】 県内外の視覚特別支援学校を対象に、生体や標本等を使い生き物の生態について学ぶ。	【館外】2件78名	視覚障害者への教育プログラムの開発及び実施(5件)	8件67名	400%	160%	・県外の視覚特別支援学校からの依頼については、新型コロナウイルスの状況に合わせ、対面もしくはオンラインで実施した。 ・次年度も感染状況を踏まえ、依頼者の方針に適合合わせて実施する。
	【移動水族館】 水族館への来館が困難な方々(病院・福祉施設・離島等)を対象に、生き物を積んだ活魚車で訪問する。(7,8,1,2月を除く)	新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。	福祉関連施設、離島等での移動水族館の実施。(1件)	1件418名	-	100%	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期は実施されなかった。 ・次年度も感染状況に応じて中止/実施の判断をする必要がある。
	【ふれあい水族館】 地域のお祭り等に生き物を積んだ活魚車で訪問し、水族館のPRや海洋生物の知識普及啓発を実施する。(7,8,1,2月のみ)	新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。	環境関連展示会への出展(1件)	3件639名	-	300%	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期は実施されなかった。 ・次年度も感染状況に応じて中止/実施の判断をする必要がある。
	【職場体験】 県内の小学高学年(ジョブシャドウ)、中・高校生に対し、飼育員のお仕事体験を通して、働くことに対する関心や職域を広げる。	7件30名	職場体験及び学校行事等の教育普及に対するの協力及び指導。(10件)	6件16名	86%	60%	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期は実施されなかった。 ・次年度も感染状況に応じて対応する必要がある。

教室	【飼育実習】 県内外の大学または専門学校において、水産または動物系を専攻している学生を受け入れ、飼育展示・解説業務等の実習を通し、実践的教育活動を提供する。	12件12名	飼育実習(20件)及び博物館実習(2件)の実施。	飼育実習 13件13名 博物館実習 2件11名 計 15件24名	125%	68%	・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一時、受入が延期された。 ・再開時には、感染対策を講じ対応が行われた。 ・次年度も感染状況に応じ延期/実施の判断を必要とする必要がある。
	【紙芝居読み聞かせ】 保育園や幼稚園を対象に、園内外で海の生き物を題材としたオリジナル紙芝居の読み聞かせやぬり絵を実施する。	【遠隔】3件45名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。(1件)	【遠隔】11件445名	367%	1100%	・新型コロナウイルスの影響により対面での対応ができず、オンラインでの対応に切り替えたことで依頼件数が増加。 ・次年度も感染状況を踏まえ、オンラインもしくは対面で適宜対応するよう努める。
	【映像貸出】 県内外の病院を対象に、展示生物の映像を貸し出し、癒し効果を与える。	5件	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。(1件以上)	10件	200%	1000%	・新型コロナウイルスの影響で依頼件数が増加。 ・周知強化を図り、今後も利用増に向け取り組むよう努める。
	【サンゴの苗作り体験】 水族館で飼育しているサンゴを活用し、参加者に苗を作成してもらう。作成した苗は「サンゴの海」水槽に1年間展示する。また毎月HP上に苗の状態を報告し、繁殖・増殖への取り組みを広くPRする。	9組21名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。	8組20名	-	-	・新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底のもと、受入れ人数を20名程度に限定して開催された。 ・今後も、感染状況を踏まえ、必要な対策を講じた上での実施を検討する。
	【ウミガメ放流会】 環境教育の一環としてウミガメの放流を実施し、来場者の環境保全に対する意識向上を図る。	-	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。	-	-	-	7-8月に実施が予定されていた「美ら海ナイトガイドツアー」内でウミガメ放流を計画していたが、緊急事態宣言により中止となった。 ・次年度も感染状況に応じて中止/実施の判断を必要とする必要がある。
	【ウミガメから学ぶ環境学習】 小中学校および教育委員会等と連携し、ウミガメとウミガメを取り巻く環境に関わる学習を実施し、環境保全意識の向上を図る。	4件528名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。(2件)	2件270名	50%	100%	・今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施した上で、瀬底小学校、上本部学園、計2校の参加があった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、参加回数や合同発表会を中止したため、参加者数が減少したが、発表内容をポスターに取りまとめ、ウミガメ館で展示を行ったことで、参加者の学習効果の向上に寄与した。
	【美ら海ナイトアクアリウム】 水槽に照明やエアレーションによる特別演出を行い、黒潮の海大水槽前において二人掛けエアソファ及びビーズクッションを設置し、リラックスしながら水槽を観覧できる場所を提供する。また、期間中には、サクソスまたはバイオリン(楽器は演奏者により変更)による生演奏の実施、名桜大学吹奏楽部による生演奏など、各種イベントを実施する。 水族館周辺においてイルミネーションの装飾を行う。	新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。	昼間の混雑緩和のため、繁忙期等においてイベント(ナイトアクアリウム、ナイトアンサンブル等)を実施し入場者の分散化を図る。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況に合わせて実施を中止する。	R3.12.25～R3.12.30 感染拡大防止対策を行った上で実施。 演奏会場の観覧者数:1369名	-	-	・新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで、良好に実施された。
	【オンラインイベント】 長期臨時休館している中でもZOOM等を活用し、オンラインイベントを実施する。	-	コロナ禍で来館が困難となった全国の子どもたちに、より質の高い学びの場を提供する。また、沖縄美ら海水族館の研究や保全活動を紹介し、今後の活動への理解の促進を図る。	R3.5.3～R4.3.13 開催数:39回 参加数:3,077組	-	-	・オンラインイベントはオンラインツアーとは違い、参加者との相互性を重視しており、一つのテーマについて話題を広げることで関心意欲を高める内容で実施されていた。 ・今後も沖縄美ら海水族館の新たなコンテンツとして実施を検討する。

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>【開場日数・運営日数】 3月～9月 (夏期:214日) 10月～2月 (通常期:149日) ※12月の第1水曜日とその翌日は休館日とする。</p> <p>【対象施設】 ・水族館及び総合休憩所(飲食店等含) ・海獣施設及びウミガメ施設 ・P7駐車場 ・上記以外の施設</p>	<p>・営業日数は242日(上半期62日、下半期180日)。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として5/23～7/11、7/22～9/30は臨時休場とした。休場日数:121日。 ・1月13日から3月31日は時短営業を実施した。 ・12月の第1水曜日とその翌日は休場日とした。(12/1、12/2)</p>	<p>・売上報告書で開場・運営日数を確認した。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による臨時休館はあったものの、業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施されている。 ・国や県の方針に従って、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施したうえで、開場・運営されている。 ・施設の効率的な運営と収益確保のため、令和3年度3月の営業時間の見直しや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、1/13～3/31は時短営業が行われた。 ・飲食物販施設においては、店舗の利用実態に応じて、営業時間を変更し運営されている。</p>
<p>【開場時間・運営時間】 ・水族館及び総合休憩所(飲食店含) 3月～9月 8時30分～20時00分 10月～2月 8時30分～18時30分</p> <p>・海獣施設及びウミガメ施設 3月～9月 8時30分～19時00分 10月～2月 8時30分～17時30分</p> <p>・P7駐車場 3月～9月 8時00分～20時30分 10月～2月 8時00分～19時00分</p> <p>・上記以外の施設 3月～9月 8時00分～19時30分 10月～2月 8時00分～18時00分</p>	<p>4/1～5/22、7/12～7/21において、県と協議を行い下記のとおり開場時間を変更した。 ・水族館及び総合休憩所 8時30分～18:30分 ・海獣施設及びウミガメ施設 8時30分～17時30分 ・P7駐車場 8時00分～19時00分 ・上記施設以外 8時00分 18時00分</p> <p>1/13～3/31は 新型コロナウイルス感染症防止の為、県と協議を行い営業時間を短縮した。 ・水族館及び総合休憩所 9時00分～17時00分 ・海獣施設及びウミガメ施設 9時00分～17時00分 ・P7駐車場 8時30分～17時30分 ・上記以外の施設 8時00分～18時00分</p> <p>飲食施設・物販施設等においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う営業時間の変更について別途県と協議し、変更した。</p>	<p>・売上報告書で開場・運営時間を確認した。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による臨時休館はあったものの、業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	

(3) 調査研究

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>熱帯・亜熱帯性動植物の生態の解明、飼育・育成等管理技術の向上、生物多様性・種の保存のための研究、情報発信を行う。特に、希少生物や国際的保護動物等の調査研究と飼育技術開発を行い、国際的に貢献性の高い事業を積極的に推進する。事業遂行にあたっては、沖縄の生物多様性と、水族館施設の利点を最大限活用し、他の施設では実現困難な研究課題にも積極的に挑戦する。また、地域の水産業等に貢献する研究、他の研究機関と連携した研究により、様々な学術交流の場を提供する。</p>			<p>【ジンベエザメ調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期サイズ測定を継続中 ホルモンモニタリングを継続中 水槽内個体にデータロガーを取り付け、行動特性モニタリング調査を実施 オス個体の繁殖行動の頻度や発現時のホルモン濃度を測定 	<ul style="list-style-type: none"> 現地で実施状況を説明を受けて、状況を確認した。 研究については、年報に成果をまとめている。 期間中に発表された学術論文の表題等を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務計画書の通り適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施されている <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>研究成果が継続的に著名な海外学術誌に掲載され、本センターの国際的評価の向上に大きく貢献している</p>
			<p>【ナノウマント調査研究】</p> <p>飼育下繁殖に向け飼育条件等を変え、引き続き実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアリングにより交尾を確認(妊娠は確認できず) 雄の雌に対する追尾行動データの収集 飼育個体の定期血液検査による繁殖ホルモン等のデータ蓄積 			<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施されている。 <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>複雑な環境要因によるサンゴ消長を明らかにするのは難しいが、しっかりフィールドワークを続けた研究を続けてほしい。</p>
			<p>【有藻性イシサンゴ類調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飼育サンゴの成熟状況を踏まえ、サンゴの採卵や幼生の飼育を行った。コロナウイルスの影響で観察会は実施できなかったが、Webによる動画配信を実施。 エメラルドビーチへのサンゴ移植は予算減にともない実施を見合わせた。 			<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施されている。 <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>研究課題に基づく調査研究は順調に進行していると思われる。とくに人工繁殖技術の開発努力は具体的な成果につながっており高く評価される。</p>
			<p>【小型鯨類調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ミナミバンドウイルカとバンドウイルカの精子凍結保存 バンドウイルカ、シワハイルカに人工授精を実施 人工尾びれの作成を開始 出産したマナティとオキゴンドウのコミュニケーションに関する調査を実施 シワハイルカの自傷行為解消技術の確立 			<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施されている。 <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>少ない予算でよくやっている。研究業績も多く高く評価できる。保全につながる研究活動の発展に期待する。</p>
			<p>【ウミガメ調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飼育下ではアカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの同季繁殖に成功 タイマイの人工授精に向けた精子の保存調査を実施 人工授精に向けた精液採取や麻醉実験を実施 タイマイのふ化率向上のための至適温度条件を解明 			<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施されている。 <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>本研究に関連するコメントは特になし。</p>
			<p>【深海性フエダイ類等調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 深海性のトウカイズメダイの産卵に成功。仔稚魚の養成について各種技術展開を実施。 チンアナゴの飼育下繁殖、仔魚育成に関するプロジェクト(成功すれば世界初)の立ち上げおよび事前試行 ツマリコシオリエビの繁殖の成功とこれらの展示 			<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施できている。 <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>本研究に関連するコメントは特になし。</p>

<p>【海洋博公園周辺海域の生態系調査】 ・サンゴ生態調査(種類や被度を把握し、生態系保全対策等へ活用) ・環境DNA調査による海域の生物相(魚類等)把握</p>
<p>【南西諸島海域の海洋生態系調査および自然史資料の収集】 ・沖縄島北部の環境DNA観測点を全国観測ネットワークに追加。 ・水族館の深海魚採集に同行し、魚類相および分類に関する資料を収集(計9回)。 ・スタンディング調査に対応 ウミガメ:45回 鯨類:19回 ・本年度上半期では日本初記録種を含む約1170点の標本を新規登録し、外部研究機関等からの貸出依頼にも対応した。</p>
<p>【沖縄周辺に來遊するザトウクジラの出現状況、回遊状況調査】 ・尾びれの照合は引き続き継続中。自動化プログラムの開発にも着手。 ・本部町沖および慶良間諸島周辺におけるザトウクジラ來遊状況調査を2~3月に20回実施。延べ230頭のザトウクジラを確認。</p>
<p>【水面希少水生生物調査】 ・希少淡水魚のミナミメダカ、ギンブナ、ヒョウモンドジョウの海洋博公園内での生息域外保全の実行および脅威となる外来ウシガエルの駆除 ・名護市の小学校2校において、希少淡水魚保全等に関する出前授業を実施。 ・希少水生昆虫タガメの環境DNA検出に関する基礎調査の開始。 ・不妊オスを用いたティラピアの駆除は様々な検討の結果効果が薄いことが明らかとなった。</p>
<p>【地域と連携した水産資源、観光資源の利活用に関する技術開発】 ・ホエールウォッチング業者との連絡会議の開催 ・ザトウクジラの野外調査では、ウォッチング業者とのリアルタイム連携を行い、双方の効率化を図った</p>
<p>【飼育技術および新規展示生物の開発に関する調査研究】 ・加圧システムを用いて深海魚を環境適応させ展示に供した。 ・サメ胎子を生存させるための人工子宮の開発。長期間の生存に成功するとともに、サメ類の繁殖様式の解説とともに展示した。</p>

<p>・概ね良好に実施できたものの、本年度もサンゴ類に特化した研究者がいいため、研究レベルの底上げが課題となっている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 本研究に関連するコメントは特になし。</p>
<p>・良好に実施されている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 標本管理、調査はよく行われており、その成果が日本(沖縄)初記録の報告として取りまとめられ、水族館での展示に活用されている。</p>
<p>・良好に実施されている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 西部北太平洋域のザトウクジラに関する情報は、太平洋全体の資源状態把握や保全を目指す上で大変重要である。その上で、沖縄での調査研究に加え、国内の取りまとめ役を担うなど、財団の取組みと既存の研究成果における社会的影響は非常に大きい。また国内外の共同研究者と共に幅広く事業を進めている点においても高く評価できる。</p>
<p>・良好に実施されている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 本研究に関連するコメントは特になし。</p>
<p>・良好に実施されている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 本事業に関連するコメントは特になし。</p>
<p>・良好に実施されている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 世界に先駆けて独自開発した人工子宮装置を改良拡充し、フジクジラ胚体からの長期育成に成功したことは評価できる。引き続き人口子宮の改良と実践が望まれる。</p>

		<p>【海洋文化及び漁労文化等海と人とのかわりについて調査研究と資料の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋文化館内の資料リストに基づき、資料の状態調査(上半期・下半期各1回)を実施した。調査結果をもとに資料の管理方法の改善を図った。 ・国立民族学博物館とともにサバニヤタンクブニといった沖縄の船についての共同調査を実施。 ・過年度に調査・製作した奥武島のサバニを海洋文化館で展示した。 ・調査結果を活かし、海洋文化館での講演等を行った。 		<p>・良好に実施されている。</p> <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>地域との連携により無形文化遺産である伝統儀礼の維持を目指した点は注目される。コロナ下においてできることを最大限実施したように見受けられる点が高く評価される。南西諸島の船関係の儀礼については、過去の調査からもデータが集まってきたようなので、分布図作成やウェブでのわかりやすい表示システムの構築などを計画していただきたい。</p>
		<p>【国内外の水族館・研究機関との情報交流、共同研究、資料の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響につき物理的交流が停止。香港オーシャンパークとは一部情報のやりとりはあるものの、国内情勢の影響もあることから今後の在り方について調整中。 		<p>・良好に実施されている。</p> <p>本項目は各種研究事業にまたがっているため、外部評価委員会における個別の評価は行われていない。外部評価委員会では研究事業全体の成果説明の際に本件について紹介し、了承されている。</p>
		<p>【調査研究・研究交流成果の発表と公園利用者への還元及び水族館の各種活動への応用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学术论文47編が受理・掲載された。 ・ザトウクジラ特別展を水族館出口にて実施。 		<p>・良好に実施されている。</p> <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>コロナ禍の中での来園者動向調査は難しかったと思われるが、可能な範囲で諸種の努力がなされていることを評価したい。非接触型のアンケート収集はネガティブな状況の中でポジティブ思考により得られた成果のひとつであろう。来園者の要望に対して即座に対応できるシステムも素晴らしい。</p>

(4) 飲食・売店営業

1) 飲食施設等

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>①利用者のニーズに合致した地元食材を使用した沖縄らしいメニューの提供。</p> <p>②メニューの多言語化 海外からの利用者に対応したメニューの多言語化やピクトグラム等によるメニュー表の整備。</p> <p>③飲食施設の増設 多客時において、美ら海プラザ屋上テラスやキッチンカー等による飲食販売。</p> <p>④環境保護への取組 飲食施設で使用している使い捨てプラスチック製品を環境負荷の少ない代替品へ切り替え。</p> <p>⑤安全衛生管理等 食品衛生法、消防法等の関係諸法令にもとづき、安全衛生管理計画及び緊急時連絡体制を定め法定点検及び自主点検を実施する。</p>	○		<p>①地元特産品「本部町産あぐ〜」豚肉を使用したあぐ〜丼、あぐ〜カツカレー、あぐ〜もやしそば等の提供を行った。</p> <p>②写真、番号等での表示、食材や調理方法、アレルギー情報等をピクトグラムで表示したほか、メニューの成分表についても多言語版を作成した。</p> <p>③美ら海プラザ前にてキッチンカーによる飲食販売を実施した。新型コロナウイルスの影響による利用者減で美ら海プラザ屋上テラスでの営業は行わなかった。</p> <p>④カフェオーシャンブルーとオキちゃんパーラーでは環境負荷の少ない木製などに切替し、全ての容器について脱プラスチックを完了した。レストランイノで使用する一部容器(アイスクリーム容器など)のプラスチックについては切替に向け調整中。</p> <p>⑤食品衛生法、消防法等の関係諸法令にもとづき、安全衛生管理計画及び緊急時連絡体制を定め法定点検及び自主点検を実施した。また、食品衛生管理マニュアル、食品アレルギー対応マニュアル等に基づき、衛生管理に努めた。</p>	<p>①〜④については月報及び現地で状況を確認した。</p> <p>⑤については、月報及び業務日報、衛生点検表を確認した</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている</p>	<p>・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底(レストランイノ、カフェオーシャンブルーは沖縄県感染防止対策認証店に認定)しながら、レストランイノでは、休止していたランチビュッフェを再開するなど収益の確保に努めている。</p> <p>・今後、販売価格や利益率に考慮しながら、利用者増加に向けた魅力あるサービスとメニューの提供に取り組む必要がある。</p>

2) 物販施設等

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>①水族館展示生物に因んだオリジナル商品等の販売</p> <p>②販売士等資格取得者による接客・販売</p> <p>③電子マネーやクレジットカード決済等の提供</p> <p>④イベントや旅行商品等への参画による利用促進、サービス向上</p> <p>⑤安全衛生管理及び品質管理</p> <p>⑥環境保護への取組みとしてプラスチック製商品袋を環境負荷の少ない代替品へ切り替える。</p>	○		<p>①展示生物(ジンベエ、マンタ等)に因んだオリジナル商品を中心に販売を行った。</p> <p>②販売士の資格取得者を配置し、豊富な商品知識やお客様に配慮した接客サービスを提供した。</p> <p>③電子マネー(Edy、WAON等)やクレジットカード決済のサービスを提供した。</p> <p>④旅行商品等への参画・協賛により利用促進、サービスの向上に努めた。</p> <p>⑤販売環境の整備及び賞味期限の確認を行い、事故発生の防止と品質管理に努めた。</p> <p>⑥プラスチック製商品袋の代替品として紙製商品袋に切替えを実施した。</p>	<p>①、③、④、⑤、⑥については、月報及びヒアリング、現地で確認した。</p> <p>②については資格取得者一覧表と日報により確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、展示生物(ジンベエ、マンタ等)に因んだオリジナル商品や地元企業と連携して製造したオリジナル飲料「ちゅうらみサイダー」を中心に販売を行い、あらたに開設したオンラインショップも活用しながら収益の確保に努めている。</p> <p>・今後、販売価格や利益率に考慮しながら、利用者増加及び客単価増加に向けた魅力ある商品の販売に取り組む必要がある。</p>

3) 自動販売機及びコインロッカー等

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用者が安全かつ快適に利用できるよう、安全面、衛生面、機能面及び景観に留意し適切な管理を行う。	○		商品の賞味期限等にかかる品質管理については、四半期ごとに自動販売機設置業者と共同で目視によるチェックを行い、事故発生の未然防止に努めた。設置台数 自動販売機:39台 コインロッカー:24口	・月報及び日報、販売記録等及びヒアリングにより状況を確認した。 ・「自販機賞味期限調査票」により、実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	・安全面、衛生面、機能面及び景観に留意しながら運営を行い、収益の確保に努めている。

4) 記念写真の撮影販売

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
水族館では展示生物をモチーフとした模型セットで記念写真撮影を行い、オリジナル台紙付の写真等を販売する。オキちゃん劇場では、夏休み期間や週末等に生物の健康管理に配慮しながら、新規に展示生物との記念写真撮影販売を実施する。	○	○	水族館では展示生物をモチーフとした模型セットで記念写真撮影を行い、オリジナル台紙付の写真の販売を行った。オキちゃん劇場周辺ではイルカとの記念写真撮影を行い、オリジナル台紙付の写真の販売を行った。	・月報及び日報(売上日計綴り)、ヒアリング及び現地で確認した。	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。	・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、収益の確保に努めている

5) 展示生物とのふれあい体験

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
有料体験プログラムとして、イルカ給餌体験、ウミガメ給餌体験、マナティ体験学習を実施する。	○		有料体験プログラムとして、イルカ給餌体験、ウミガメ給餌体験、マナティ体験学習のサービスを実施した。	・月報及び業務日報、ヒアリングで確認した。	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。	・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、イルカ給餌体験、ウミガメ給餌体験、マナティ体験学習を実施し、収益の確保に努めている。

(5) 広報・誘客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用促進の為に開催事や広報宣伝の企画立案、実施を行い、利用者向け広報、メディア広報、地域広報等について、公共性や実施効果等に留意しながら、パンフレットや広告等様々な情報ツールを活用し効果的に実施する。また、ロケーション、資料貸出、海洋博公園において開催される各種行事、集客イベントへ積極的に協力し実施する。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・お客様がーか所に集中しない様、分散化対策としてプログラムやイベントを中止した。 ・水族館HPやSNS(Facebook・YouTube)で生き物の紹介など行った。 ・スマートフォンアプリ「美ら海アプリ」のお知らせ(プッシュ通知)を活用し、アプリケーション利用者に向け直接的な告知を行ったり、「美ら海フォトコンテスト」を開催。 ・YouTubeにて動画配信やライブ配信を行い、国内外へ水族館の宣伝を行った。 ・「OKINAWA BLUE POWER」や「そらとぶビカチュウプロジェクト」へ参画し、コロナ禍における沖縄観光の活性化に繋がる施策を実施した。 HPアクセス数:9,218,111件 美ら海アプリインストール数:65,664件 YouTubeチャンネル登録数:13,766人(+2,424人) You Tube視聴回数:967,923回(+305,627回)	・月報及びヒアリングで確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況をアプリで確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ・良好に実施されている。 ・SNSやインターネットを活用した告知が積極的に実施された。 ・引き続き、沖縄県や県内企業が実施するキャンペーンへ参画し、沖縄観光活性化に繋がる施策の実施や、新型コロナウイルスの状況をみながら県内外の方への広報・誘客の方法を検討する必要がある。

(6) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
多様なサービスの提供 ・子供や障害者等の弱者及び外国人を含めたすべての利用者が快適に楽しめるよう施設や接客など、教育を受けた案内員を配置し、接客にあたる。	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員ガイドブックを携帯し、海洋博公園の多施設及びプログラム案内・料金・利用時間等の基本情報の問合せに対応した。 ・外国人からの電話・メール等での問い合わせに対し、英語の他、多言語での対応を行った。 ・接客に関する資格として、サービス介助士を新たに2名取得し、スキルアップに努めた。 ・P7立体駐車場においてベビーカー・車いすの無料貸出を行った。 ・スタッフミーティングを実施し、団体予約状況の確認及び繁忙時に備えスタッフの配置を強化する等、お客様に対する満足度の向上に努めた。 ・多言語対応の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①パンフレット ②館内案内表示 ③外国語案内スタッフの配置 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、音声ガイドの貸出は中止とした。また、ベビーカー・車いすは台数を制限して貸出した。 	・ヒアリングにより確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ・良好に実施されている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、音声ガイドの貸出は中止しているが、水族館アプリにて代替機能を実装し満足度向上に努めている。

(7) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報適正に保護するため、「個人情報の保護に関する法律」「沖縄県個人情報保護条例」等関連法令を遵守するとともに、「個人情報・特定個人情報取扱規程」を独自に定め、個人情報の漏洩、滅失、及び棄損の防止を徹底する。	○		<p>各種関連法令や当財団の個人情報・特定個人情報取扱規程を遵守した。各種申請書やアンケート、名簿など、鍵付き書庫での保管や、担当者以外ではアクセスできないよう、データ管理を適正に行った。</p> <p>また、ISO27001基準を満たすサービス事業者を選定し、サーバークラウド化を実施した。</p>	<p>『個人情報・特定個人情報取扱規定』を確認するとともに、運用状況等についてヒアリングで確認した。</p>	・業務計画書の通り適切に実施されている	良好に実施されている。

3. 自主事業(公園関連事業・地域還元事業)

(1) 地域還元事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
・地域還元事業 【継続】 フラワーロードの設置 水族館・海洋博公園の周辺地域の道路に造形花壇等を設置し、周辺地域の美観向上、公園利用者の満足度向上に寄与する。	○		水族館・海洋博公園の周辺地域の道路に設置された立体造形花壇の草花の入れ替えと灌水作業を行うなど維持管理を行った。 また、台風対策として、花苗の保護・飛散防止のため、立体造形花壇を防風ネットで覆うなどした。	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	良好に実施されている。
・地域還元事業 【継続】 那覇空港到着ロビー水槽の維持管理 那覇空港1階到着ロビーに設置した水槽を活用し、水族館と関連する生物を展示すると共に海洋博公園の情報を発信する。	○		水族館等への誘客促進を目的に、那覇空港1階到着ロビーに設置した水槽(一部当財団資産)を活用し、水族館と関連する生物を展示すると共に海洋博公園の情報を発信した。 水槽設備について、毎日の巡回や各機械の検針・バルブ調整などを実施。定期的に設備の点検と適宜修理等のほか、海水補給とろ過器の逆洗を行い良好に維持管理ができた。また、空港の計画停電時には設備の復旧状況を確認した。	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	良好に実施されている。
・地域還元事業 【継続】 国内主要都市でのプロモーション 国内主要都市におけるプロモーション事業や「JTAジンベエジェット、ソラシドエアタイアップ等航空会社と連携した事業」等を、北部地域と連携して行う。	○		新型コロナウイルスの影響による国内主要都市におけるプロモーション事業中止により大型事業は未実施となったが、パンフレット・素材提供により対応可能事業へ協力を行った。 沖縄リゾートウェディングフェアへ出展し、新たな事業展開を図った。	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策により、人員派遣等を見送り素材・物品提供等により実施された。 Webやアプリを活用した効果的な情報発信、誘客方法を検討する必要がある。
・地域還元事業 【継続】 海洋博公園・沖縄美ら海水族館の利用促進および本県、特に本島北部地域の観光振興等に寄与することを目的として下記の行事を実施する。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況にあわせて、実施を中止または代替メニューで実施することもある。 ・海洋博公園花火大会 ・海洋博公園全国トリムマラソン大会 ・海洋博公園美ら海花まつり	○		【海洋博公園花火大会】 令和3年度の開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、中止となっている。	今後の新型コロナウイルス感染状況、国、県が示す新型コロナウイルス感染拡大防止に関する催物制限に係る留意事項等の情報収集を行い、今後の開催に向けて感染対策を含め検討を行う必要がある。
	○		【海洋博公園全国トリムマラソン大会】 令和3年度の開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止し、代替イベントとして以下のとおり行った。 「今年は歩こう！春のウォーキングイベント」 ①R4.1.22～R4.2.6 ②R4.2.11～R4.3.13 総参加者数:346名	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、代替メニューで実施されている。	代替イベントは良好に実施されている。今後の新型コロナウイルス感染状況、国、県が示す新型コロナウイルス感染拡大防止に関する催物制限に係る留意事項等の情報収集を行い、今後の開催に向けて感染対策を含め検討を行う必要がある。
	○		【海洋博公園美ら海花まつり】 令和4年1月22日(土)～3月31日(木)に実施、230,249人の入園があった。 今回のテーマを「春夏☆真っ映かり」とし、春と夏の花を中心に海洋博公園の各所をペゴニア・マリーゴールド、ビオラ等の161品種約31万株の草花で装飾展示した。	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	良好に実施されている。 見頃の花を随時入れ替えしたり、植え替えを実施することで、長期の展示でも常に見頃の春・夏の花を楽しめるように工夫されている。 1・2月はまん延防止等重点措置期間となったため、入園人数が伸び悩んだが、屋外空間を花で彩ることで、コロナ禍でも花に癒されていただけのイベントを提供することができている。 また、今回は、首里城公園と連携したPRも初めて実施された。今後も相互に連携したPRを図ることで、冬期の花のイベントの振興に努める。

(2) 公園関連事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>公園関連事業 【継続】 植物等に関する展示協力</p> <p>熱帯ドリームセンター等の利用促進、魅力向上を図ることを目的に、国営公園管理業務受託者と連携して緑や花のイベントを開催する。</p>	○		<p>①熱帯の不思議な種子と果実展示 令和3年8月7日～10月3日 ※8月7日～9月30日は新型コロナウイルス感染防止のため、臨時休館 熱帯果実、種子の持つ特徴を、熱帯果樹や種子コレクションなどの実物とともに解説パネルで紹介した。1,446名が参加した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施されている。 ・ドリアンは完熟果実を展示し、匂いを嗅ぐ体験型展示を行ない、お客様の満足度に繋がられている。 ・臨時休館のため、開催が3日間のみとなり、接待果実の最盛期が過ぎてしまったため、次回は開始日程を早め、生果展示の充実に努める。</p>
			<p>②ブーゲンビリア・ハイビスカス特別展示 令和3年11月13日～12月12日 ブーゲンビリア455鉢、ハイビスカス51品種165鉢を展示した。 参加者は5,565人だった。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施されている。 ・伊江村と連携し、伊江島ハイビスカス園のオリジナル品種を借用し展示されている。 ・ブーゲンビリアとハイビスカスの苗木が期間中の土日祝日に無料配布された。</p>
			<p>③ツバキ展 令和4年2月11日(金・祝)～13日(日)の3日間実施し、2,821人の来場者があった。(1) 沖縄椿協会の共催により、59の種・品種(合計107鉢)の展示、また、華道広山流沖縄支部の協力により、ツバキを題材とした生け花の展示を行った。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施されている。 ・例年2月の第2週目の週末に開催しているが、花のピークが過ぎてしまう年もあるため、次年度は1月末の週末開催に移動できないか、検討が必要。</p>
<p>公園関連事業 【継続】 緑化等に関する発表会</p> <p>熱帯・亜熱帯都市緑化植物園等の利用促進や都市緑化の普及啓発を目的に、沖縄における最新の緑化事例や緑化技術等の発表の場を設ける。</p>	○		<p>毎年10月に開催される沖縄都市緑化月間行事の一環として、「亜熱帯緑化事例発表会」を11月5日(金)に実施した(当財団が実施部会事務局)。今年度は、一般公募により応募のあった緑化事例に関する発表3件、緑化技術に関する発表2件の発表を行い、審査により、最優秀賞1件、優秀賞2件を選出した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施されている。 ・今後、発表者の確保のため、県内の緑化事例の情報収集を継続して行うとともに、沖縄都市緑化実行委員会事務局である県土木建築部都市公園課や沖縄都市緑化祭開催担当市町村等、関係団体との連携及び募集方法を検討し強化する必要がある。</p>
<p>公園関連事業 【継続】 やんばる環境学習等の実施</p>	○		<p>①こども環境調査隊(タイムスと連携) ・新型コロナウイルス感染拡大により、全行程を中止した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。 【外部評価委員コメント】 財団が取り組んでいる研究等を子供たちの人材育成に役立てる事業であり、これまでの実績、評価も高い。コロナ禍で、事業の中心となる現場体験研修が出来なかったのは残念であるが、バーチャル体験が出来るような会場や資料の工夫をし、期待に応えてほしい。</p>
			<p>②やんばる環境学習 ・上本部学園(小中一貫校)の3学年を対象とした通年学習を試行・継続した。(全11回) ・中学3年生は、昨年度の園内各施設におけるインタビュー学習の結果を元にリーフレットを作成し、園内での掲示・配布により成果を発表した。 ・県内小中高校に対し出前授業を行った(4件)。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はありながら、良好に実施されている。 【外部評価委員コメント】 全般に渡っているようなことをよくやっていると思う。沖縄の子供には生物多様性の教育は非常に重要であり、その観点も考えたプログラムをしていただきたい。</p>
			<p>③教室講師等の派遣 ・園内外での催事における講師として職員を派遣(14件)。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響はありながら、良好に実施されている。 【外部評価委員コメント】 財団が取り組んでいる活動・研究等について、研究者・担当者が社会に紹介・講義・教育する機会があることは、財団の存在価値と人材の優秀さを示すものであり、大いに応える必要がある。</p>
			<p>④外部団体からの協力依頼 各種講習会展示会等の開催 ・新型コロナウイルス感染症拡大にともない、教育イベント等の開催が延期または中止となった。 ・外部団体が主催するオンライン講義等の講師として、総合研究センター職員が対応した(15件)。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	

○	⑤県内大学等連携寄附講座(公園関連) ・名桜大学および琉球大学において、対面やオンラインにより、計15回、14名の財団職員が講師として講義を行った。 ・内容は沖縄の動植物や自然環境、琉球の歴史文化、財団の取り組みや公園管理に関する解説を行った。 ・登録者数は名桜大学32名、琉球大学38名であった。	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	・新型コロナウイルス感染症の影響はありながら、良好に実施されている。 【外部評価委員コメント】 地元の大学への研究成果還元が行われたことは成果である。内容は自然科学から人文・民俗学にまたがっているようだが、受講生はあらゆる講義が理解できたか等の評価も検討されたい。
○	⑥指導者育成事業(公園関連) ・新型コロナウイルス感染拡大のため、一般向けの講座は中止した。 ・水族館解説員に向けて、サンゴ類の基礎的な知識構築のための学習会を実施し、サンゴについての基本的な知識から最新の研究まで紹介し、知識のアップデートを行った。また、研究センターの職員が財団職員向けに自身の研究等の事業を紹介する「月一ゼミ」を試行した。	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	・新型コロナウイルス感染症の影響はありながら、良好に実施されている。 【外部評価委員コメント】 コロナ禍で、事業の中心となる現場体験研修が出来なかったのは残念であるが、バーチャル体験が出来るような会場や資料の工夫をし、期待に応えてほしい。これまでの活層の内容を整理・構成したテキスト・資料を公開・提供することも努力されたい。
○	⑦総合研究センター事業年報の発行 ・R2年度事業の成果をとりまとめ、HP上にて公表を行ったほか、過年度分についても順次、公開した。 ・R3年度の事業成果については、R4.5月のHP掲載に向けて作業を開始した。	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	・良好に実施されている。 ・HP内でみつけにくい点、掲載場所について検討する必要がある。
○	⑧調査研究・技術開発研究助成事業 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、通常の調査研究・活動等の実施が困難であることから、新規公募を中止した。 ・過年度助成対象者の対応については、遅延申請3件、完了報告10件について対応を行った。 ・過年度報告分の報告資料のHP掲載による公表準備を開始した。	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて新規採択は中止された。過年度採択者の事務処理について概ね問題なく実施されている。 【外部評価委員コメント】 本研究助成は、これまでかなりの実績があり、多くの研究者等の活動に貢献している。近年のコロナ禍での影響を受け、中断しているのは残念であるが、webを利用したの公募・発表等の工夫をし、今後も努力をして欲しい。また、研究成果については冊子等により広く公開・提供していくことを求める。
○	・公園関連事業 【継続】 沖縄国際洋蘭博覧会 海洋博公園の利用促進や満足度向上、公園内施設の利活用を図ることを目的に、沖縄国際洋蘭博覧会等の国際規模行事実施の協力を行う。加えて、実施協力により、冬季の沖縄の観光振興へ貢献する。	・月報で実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	・代替イベントは良好に実施されている。 ・出展株についてカテゴリー別に展示し、来場者による人気投票が実施され、受賞者からは励みになるなどと好評だった。 ・前年度開催時より原種ランの出展が増えた。R4年度開催予定の洋蘭博でも原種ランの出展数が増えると考えられるため、カテゴリー編成を検討する必要がある。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	・新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント・プログラムの中止はあったものの、実施できる事業については、感染症防止対策を講じながら、概ね良好に実施されており、引き続きイベント等は感染状況を踏まえつつ実施していく。 ・子どもを対象とした学習コンテンツを提供するオンラインイベントも好評であることから、引き続き普及啓発をしつつ誘客促進および満足度向上、収益確保を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少がこれまで続いてはいるものの、水族館内の感染拡大防止の取り組みもアピールし、安全な施設として利用者増に向けた取り組みを実施していきたい。
-----------------------------	--

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和2年評価	令和3年目標	令和3年評価			
維持管理業務 施設・設備管理 (建物管理・清掃・植物管理)	S (99.3%)	—	<p>【施設の芝生・草花や植栽の手入れについて】</p> <p><満足度>98.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足 66.6% どちらかという満足 16.2% どちらかという不満 1.0% 不満 0% 利用していない 3.0% 無回答 13.3% <p>【建物・設備の管理、衛生・清掃状態について】</p> <p><満足度>98.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足 64.1% どちらかという満足 19.3% どちらかという不満 1.0% 不満 0% 利用していない 0.8% 無回答 14.8% 	98.8%	<p>業務計画に基づく植物管理を適正に行ったほか、水族館周辺で設置・花の入れ替え等維持管理している海の生き物の立体造形花壇等について、園路導線上に設置することで、色鮮やかな花修景を創出し、水族館利用者の期待感を高める演出を行った。</p>	<p>概ね良好に実施された結果と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足度低下の要因として、経費節減、効率的管理のために優先順位をつけて管理していたことが考えられる。収支状況を勘案しながら引き続き適切な維持管理を行い、利用者の満足度向上に努める必要がある。
施設・設備管理 (水族館の展示内容)	S (92.7%)	—	<p>【生き物の展示について】</p> <p><満足度>98.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足 68.0% どちらかという満足 19.8% どちらかという不満 0.8% 不満 0.5% 利用していない 1.3% 無回答 9.5% <p>【水族館内のショーや解説について】</p> <p><満足度>96.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足 46.4% どちらかという満足 23.4% どちらかという不満 2.1% 不満 0.3% 利用していない 15.6% 無回答 12.1% <p>【オキちゃん劇場等のショーについて】</p> <p><満足度>95.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足 32.5% どちらかという満足 14.1% どちらかという不満 1.1% 不満 1.1% 利用していない 34.9% 無回答 16.2% 	96.8%	<p>ジンベエザメやナンヨウマンタ、世界唯一となるヒメイトマキエイやオニイトマキエイ、日本新記録種のヨウリンウミヘビ、ホクロキンチャクフグ、新種のコシオリエビの繁殖個体の展示を行った。</p> <p>海獣施設においても、国内唯一の展示種であるミナミバンドウイルカやシワハイラルカ、ウミガメ類、アメリカマナティーの飼育展示を行った。また、アメリカマナティーやオキゴンドウ、バンドウイルカの出産に伴う赤ちゃん個体の展示を行った。</p>	<p>ショー等の参加者からは高い満足度があった。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながらも、質の高い展示やショー等の実施に努める。</p>
運営業務 接客対応	S (97.8%)	—	<p>【スタッフの対応について】</p> <p><満足度>96.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足 58.6% やや満足 23.8% やや不満 2.5% 不満 0.5% 無回答 14.6% 	96.4%	<p>接遇研修、安全教育を実施し多様なニーズにこたえられるよう、スタッフの技術・資質の向上に取り組んだ。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた上で、資質向上を図るため、研修等を実施し、満足度の向上に努める。</p>

運営業務	施設・設備 (売店、スナック、レストラン等)	S (96.2%)	—	<p>【カフェ・レストランについて】</p> <p><満足度>86.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足 16.2% ・どちらかというと満足 11.1% ・どちらかというと不満 3.0% ・不満 1.31% ・利用していない 52.5% ・無回答 15.9% <p>【ショップ・売店について】</p> <p><満足度>94.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足 34.9% ・どちらかというと満足 23.9% ・どちらかというと不満 2.6% ・不満 0.7% ・利用していない 20.4% ・無回答 17.4% 	90.6%	<p>新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、地元特産品を活用したメニューの提供、オリジナル商品の販売、キャッシュレスサービスなど提供することで満足度向上に努めた。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、店舗休業や時短営業を実施しており、満足の評価を得るには厳しい状況であった。</p>	<p>利用者の満足度は飲食、物販ともに高い満足度であったが、利用していないという回答も多く見受けられた。魅力のあるメニューの提供や商品の販売、キッチンカーの出店等、来園者の飲食施設物販施設の利用促進に向けた取り組みが必要である。</p>
				<p>(改善要望)</p> <p>飲食施設が少ない、休憩施設やベンチを増やしてほしいという要望がある。(自由意見)</p>			
	教室・プログラム	S (100%)	—	<p>【美ら海オトナ塾「無脊椎動物とワタシ」】</p> <p><満足度>100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足67% ・やや満足33% <p>【美ら海オトナ塾「ハゼの目で見た沖縄の川と海」】</p> <p><満足度>100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足40% ・やや満足60% <p>【美ら海オトナ塾「きっとあなたもまるのんびり人魚 マナティーの魅力」】</p> <p><満足度>95%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足76% ・やや満足19% ・普通5% 	98.3%	<p>18歳以上の大人を対象とした年パス会員イベントとし、海洋生物の知識の普及や調査研究成果を発信した。</p> <p>無脊椎動物やハゼの目で見た沖縄など、これまでとは視点を変えたプログラムを行った。また、マナティーなど人気の生き物をテーマに採用したことで、参加者から深い興味が得られた。</p> <p>第5回【「きっとあなたも出会ってる!!実は“そこ”にいる生き物のお話」と第6回【「やんばるを救え！希少生物保全のために水族館ができること」】については新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン開催のためアンケート集計は無し。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んだ上で、良好に実施されている。対象年齢が18才以上と言うこともあり、参加者から、普段の展示では知り得ない詳細な生態情報や研究成果など、大学の講義のようなコアな大人向けの内容が良かったと好評を得たことから、次年度は、アンケート結果を参考に要望に沿えるよう、新規プログラムの開発に努める。</p>
				<p>(改善要望)</p>			
総合評価 (各評価項目の平均)		S (96.3%)	-	<p>(満足度)</p> <p>満足 96.2%</p>	<p>評価 (②満足度)</p> <p>-</p>	<p>今後も適切な維持管理・運営業務に努める。</p>	<p>利用者からは一定の評価を得られている。今後も継続的に来園者のニーズを踏まえた改善を図り、質の高いサービス提供に努める必要がある。</p>

※利用していない及び無回答の回答がある項目は、これらの項目の回答を除いて満足度を算出する。

※県の指定管理者制度導入施設に係るモニタリング評価の方針に従い、評語を付さず「-」とする。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

II. サービスの質の評価 取組改善案	<p>・全項目で高い評価を得られている。</p> <p>・イルカショーなどのプログラムや売店・飲食施設については、利用していない方も一定数いるため、利用率の向上に向けて、魅力のあるメニューの提供や商品の販売、キッチンカーの出店等のニーズの把握に向けた取り組みを行っていく。</p>
------------------------	--

Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		令和2年度 実績	事業計画	令和3年度 実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
利用 料金 収入	入場料収入	667,075,740	2,053,860,000	806,898,430	121.0%	39.3%	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響による休館日が121日あったことや沖縄県への入城観光客数が伸びなかったため、対計画比は39.3%となったが、3月にはまん延防止等重点措置が解除され、卒業旅行や春休みの需要を取り込めたため、対前年比121%となった。 園外チケットは周辺のコンビニや道の駅での販売を継続しており、これによりチケット売り場の混雑解消及び新型コロナウイルス感染拡大防止に繋がっている。
	売店等収入	580,996,820	1,890,532,000	656,768,935	113.0%	34.7%	<ul style="list-style-type: none"> オンラインイベントやバックヤードツアーの実施、新たに開設したオンラインショップの活用、カフェオーシャンブルーでの時間制指定席(有料)の導入、レストランイーでのランチビューフェ再開などにより収入の確保に努めた結果、前年度対比113%となった。 ECサイトは通年(メンテナンスで5月、6月休んだが)実施した。 Paypayモールの方は送料無料でしただけ売れれば利益がない状態であるため、継続するかは検討中。 公式オンラインショップの方が高利益率だが、HPに来ているファンの方が主要顧客となるため顧客層の拡大が課題となる。オリジナル商品として上期は美ら海サイダー、下期は珊瑚コーヒーを販売している。 正月に合わせて販売した、現地でしか買えない福袋50個が好評だった。 利用客の客層に合わせて、商品のラインナップを変更した。 コロナの影響で中止していたランチビューフェを12月から再開し、アグー豚を使ったメニューや青いカレー(美ら海カレー)等の新メニューの提供をおこなった。
	計	1,248,072,560	3,944,392,000	1,463,667,365	117.3%	37.1%	
指定管理料		1,135,607,318	0	1,745,840,028	153.7%	-	大規模修繕費用相当分の収入(1.5億円余)、施設管理運営維持に係る指定管理料(13億円余)、施設管理運営に係る補助金(2.7億円余)
雑収 入	雑収入	351,689,464	300,000	177,835,260	50.6%	59278.4%	新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金(1.7億円余) 那覇空港の魚類展示水槽設備日常管理費(190万円余)等
	計	351,689,464	300,000	177,835,260	50.6%	59278.4%	
合計(A)		2,735,369,342	3,944,692,000	3,387,342,653	123.8%	85.9%	
<p>(現状分析・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他会計とは区分され、適切に管理されている。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、長期の休館期間があったことや主要な利用者である観光客の回復が伸びなかったことから、事業計画を下回る結果となったが、オンラインショップの開設、有料のバックヤードツアー、オンラインイベントを実施し収入の確保に努めている。 							

(2) 支出

支出項目	令和2年度 実績	事業計画	令和3年度 実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
売上原価	3,099,092,164	3,994,661,000	2,806,917,777	90.6%	70.3%	
<施設維持管理>	851,090,154	1,038,569,000	801,265,750	94.1%	77.2%	
修繕費	11,904,852	18,661,000	6,518,386	54.8%	34.9%	新型コロナウイルスの影響を勘案した業務見直しによる減
清掃費	142,904,990	173,900,000	141,669,516	99.1%	81.5%	休業への協力による優先順位を勘案した業務縮減
植物管理費	51,865,677	68,260,000	46,063,907	88.8%	67.5%	造形花壇の設置数や造形物の種類(鉢数少ない)見直し、花壇について植え替え頻度の少ない草花(多年草など)へ見直しによる減
動物管理費	120,133,433	157,662,000	112,687,706	93.8%	71.5%	低価格の餌料導入による減。 疾病の早期発見による薬品費の減
建物維持管理費	363,585,271	465,823,000	337,417,297	92.8%	72.4%	新型コロナウイルスの影響を勘案した業務見直しによる減
その他	160,695,931	154,263,000	156,908,938	97.6%	101.7%	
<利用者サービス等>	1,287,940,917	1,329,620,000	1,069,469,990	83.0%	80.4%	
人件費	964,535,799	924,833,000	814,245,905	84.4%	88.0%	新型コロナウイルスの影響による業務見直しによる人件費減
印刷製本費	17,164,723	81,978,000	33,258,627	193.8%	40.6%	令和2年度は経費節減で増刷をしていなかったため、令和3年度は不足分に対応し増刷したため、対前年比が増加した。
利用者サービス費	131,761,473	165,035,000	92,231,320	70.0%	55.9%	休館に伴う警備及び利用者案内に係る費用の減や新型コロナウイルス拡大の影響を勘案した業務見直しによる減
賃借料	33,918,684	41,560,000	28,309,565	83.5%	68.1%	新型コロナウイルス拡大の影響を勘案した業務見直しによる減
委託費	140,223,867	115,714,000	101,385,196	72.3%	87.6%	人材派遣経費の減。
その他	336,371	500,000	39,377	11.7%	7.9%	新型コロナウイルスの影響による業務見直しによる商品開発費用の減。
<広告宣伝>	41,908,958	60,064,000	28,249,634	67.4%	47.0%	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案した、業務見直しによるプロモーション事業削減による減
<商品仕入れ>	303,539,239	925,052,000	331,351,344	109.2%	35.8%	売店等の売上増に伴う商品仕入れの増
<光熱水費・雑費等>	614,612,896	641,356,000	576,581,059	93.8%	89.9%	電気代については、単価値上げにより電力使用量は昨年度比で減少しているものの、費用増となっている。 消費税の中間納付額は前年度実績に基づき算出されるため、令和2年度に比べ中間納付額が減っており、全体として昨年度比で減となっている。
2 調査費	132,277,288	122,281,000	93,469,843	70.7%	76.4%	事業の効率化及び新型コロナウイルスの影響による一部事業の実施事業の実施見送りによる減
3 販売費及び一般管理費	190,433,621	174,246,230	179,961,977	94.5%	103.3%	
4 県への固定納付金	388,340,340	1,413,300,000	275,297,948	70.9%	19.5%	
<国有財産使用料>	326,340,340	501,300,000	213,297,948	65.4%	42.5%	
<大規模修繕費等>	0	850,000,000	0	0.0%	0.0%	
<県職員人件費>	42,000,000	42,000,000	42,000,000	100.0%	100.0%	
<県モニタリング費>	20,000,000	20,000,000	20,000,000	100.0%	100.0%	
5 大規模修繕費用	747,266,978	0	152,583,680	20.4%	—	
小計	4,557,410,391	5,704,488,230	3,508,231,225	77.0%	61.5%	
公園関連事業	95,499,052	103,559,000	70,718,968	74.1%	68.3%	事業の効率化及び新型コロナウイルスの影響による一部事業の実施事業の実施見送りによる減
歩合納付金A	0	0	0	0.0%	0.0%	
歩合納付金B	0	0	0	0.0%	0.0%	
合計(B)	4,652,909,443	5,808,047,230	3,578,950,193	76.9%	61.6%	
(現状分析・課題)						
<ul style="list-style-type: none"> ・他会計とは区分され、適切に管理されている。 ・新型コロナウイルスの影響による業務見直しにより全体的に経費節減に取り組んでいる。 ・利用者数の増に伴い、印刷製本費(パンフレット増刷等)や商品仕入れ費の支出は増となっている。 ・令和2年度から経費節減に取り組んでいることにより、今後必要な修繕等の経費が増加する事が見込まれる。 						

2. 経営分析指標

評価指標	令和2年度 実績	事業計画	令和3年度 実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	△ 1,917,540,101	△ 1,863,355,230	△ 191,607,540	190.0%	189.7%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	-70.1%	-47.2%	-5.7%	191.9%	188.0%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	45.6%	100%	43.2%	94.7%	43.2%	利用料金収入も増加しているが、指定管理料も増加しているため利用料金率が前年比で94%となっている。
人件費比率 (人件費/支出(B))	20.7%	15.9%	22.8%	109.8%	142.9%	事業見直しに伴い経費節減を行っているため、人件費も前年度比で減額となっているものの、人件費比率は前年比で109%となっている。
外部委託費比率 0内は外部委託費 (外部委託費合計/支出(B))	(1,615,104,308) 34.7%	-	(855,905,673) 23.9%	68.9%	-	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	602,503人 7,723	1,600,000人 3,630	620,115人 5,771	103% 75%	38.8% 159.0%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	388,340,340 645	-	1,593,256,348 2,569	410% 399%	-	・新型コロナウイルスによる影響の継続で収入によって費用を賄うことができず、令和3年度の施設の管理運営に支障が生じる恐れがあることから、施設の維持管理に必要な額を指定管理料として負担した。(1,318,958千円) ・併せて、新型コロナウイルス感染症の影響により、指定管理施設の管理運営継続に支障が生じた指定管理者を支援するため、大規模修繕費を除く固定納付金相当額を補助金として交付した。(275,298千円)
<p>(現状分析・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理に必要な額を指定管理料として負担したことが及び各種経費の節減、オンラインイベント等による収入の確保の結果、事業収支は大幅に改善された。 しかしながら、まだ赤字となっているため、引き続き収入増に向けて取り組んで行く必要がある。 利用者当たりの管理コストは抑えられているが、利用者当たりの自治体負担コストは増加している。 経費節減の中で、これまで外部委託にて実施していた部分を、職員にて対応することにより外部委託費比率の減となった。 						

※県の指定管理者制度導入施設に係るモニタリング評価の方針に従い、評語を付さず「-」とする。

評価(③財務状況)

-

【評価基準(③財務状況)】

収益率(事業収支/収入合計)

- A: 0%以上
- B: -5%以上、0%未満
- C: -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、収入の確保に向けて、オンラインイベントの実施等を行っていく。 飲食や物販については、客単価向上に向けて引き続き取り組んでいく。 経費節減についても、令和4年度の利用者の回復も踏まえながら継続的に実施していく。
----------------------------------	---

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置が確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	備考
成果指標	①利用状況	利用者数	—	—	—	—
	②満足度	満足度	—	—	—	—
財務指標	③財務状況	収益率	—	—	—	—

2. 評価結果 ※①利用状況、②満足度、③財務状況は県の指定管理者制度導入施設に係るモニタリング評価の方針に従い、評語を付さず「—」とする。

評価項目	評価指標	令和2年実績	事業計画(目標値)	令和3年実績	前年比		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和4年目標値		
					前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	602,503	1,660,000	620,115	102.9%	37.4%	—	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館日数が前年度を上回る等の影響により、入場者数は目標値に達しなかった。 前年度と比較すると増加しているが、コロナ禍前に比べると大幅に減となっているため、引き続き利用者増加に向けた取り組みが必要である。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント・プログラムの中止はあったものの、実施できる事業については、感染症防止対策を講じながら、概ね良好に実施されており、引き続きイベント等は感染状況を踏まえつつ実施していく。 子どもを対象とした学習コンテンツを提供するオンラインイベントも好評であることから、引き続き普及啓発をしつつ誘客促進および満足度向上、収益確保を図る。 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少がこれまで続いてはいるものの、水族館内の感染拡大防止の取り組みもアピールし、安全な施設として利用者増に向けた取り組みを実施していきたい。 	1,240,000 ※R4.4.1 ～R5.1.31
	②満足度	満足度	96.3%	—	96.4%	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 利用者からは一定の評価を得られている。 今後も継続的に来園者のニーズを踏まえた改善を図り、質の高いサービス提供に努める必要がある。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 全項目で高い評価を得られている。 イルカショーなどのプログラムや売店・飲食施設については、利用していない方も一定数いるため、利用率の向上に向けて、魅力のあるメニューの提供や商品の販売、キッチンカーの出店等のニーズの把握に向けた取り組みを行っていく。 	
財務指標	③財務状況	収益率	-70.1%	-47.2%	-5.7%	191.9%	188.0%	—	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理に必要な額を指定管理料として負担したこと及び各種経費の節減、オンラインイベント等による収入の確保の結果、事業収支は大幅に改善された。 しかしながら、まだ赤字となっているため、引き続き収入増に向けて取り組んで行く必要がある。 利用者当たりの管理コストは抑えられているが、利用者当たりの自治体負担コストは増加している。 経費節減の中で、これまで外部委託にて実施していた部分を、職員にて対応することにより外部委託費比率の減となった。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、収入の確保に向けて、オンラインイベントの実施等を行っていく。 飲食や物販については、客単価向上に向けて引き続き取り組んでいく。 経費節減についても、令和4年度の利用者の回復も踏まえながら継続的に実施していく。 	
活動指標	④重点取組事項	体験プログラムの充実(海獣施設)	47,593人	—	52,297人	109.9%	—	A	<ul style="list-style-type: none"> イルカおよびウミガメ給餌体験、イルカフォトサービス等の体験機会の増加により、参加者数が増加した。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んだ上で、イルカおよびマナー体験学習等を再開し、満足度向上や普及啓発を図りつつ、収益の確保を目指す。 	
総合評価	<p>新型コロナウイルスによる臨時休館が入館者数減や財務状況悪化に大きく影響したが、オンライン等を活用し、普及啓発や誘客を図りつつ収入の確保に努め、また、業務見直し等による経費節減も行うなど収支改善に努めている。また、重点事項として様々な体験プログラム等を提供し、参加者数も増加するなど、プログラムの充実も図られている。引き続き、感染症対策に取組み、安全な施設であることをアピールするなどして誘客を図り、アフターコロナに向けた入館者増への取組や利用者の満足度向上、収益の確保を図る必要がある。</p>											

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S : 目標を大きく上回る

A : 目標を概ね達成

【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

【各評価項目点数】

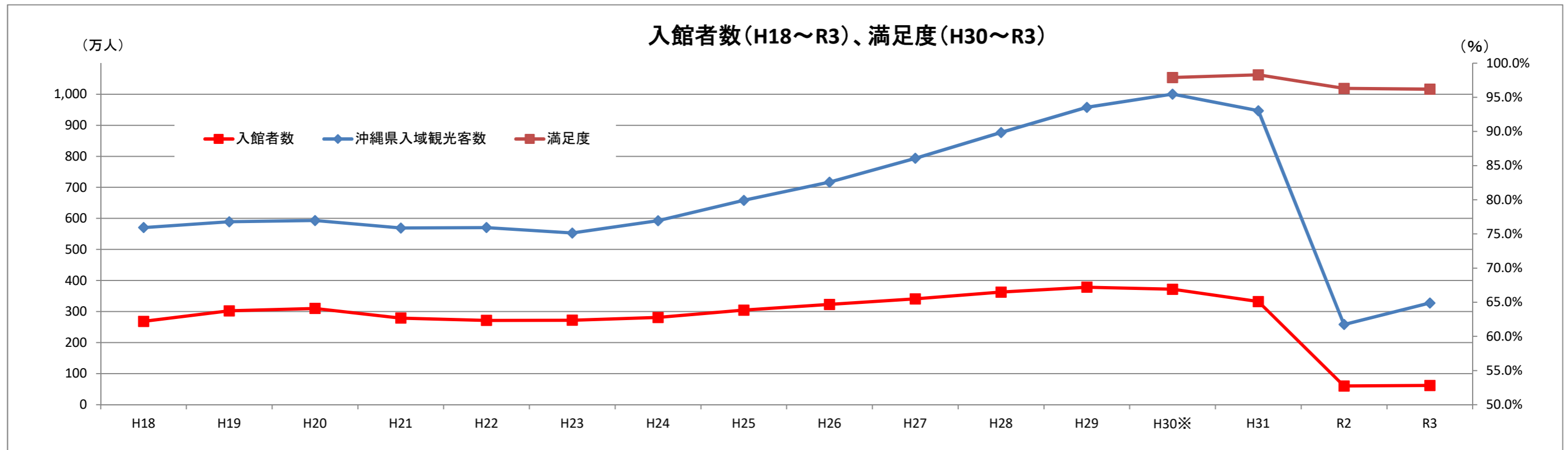
	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

経営状況分析シート【施設名称: 沖縄県国営沖縄記念公園内施設(海洋博地区内施設)】

指標			単位	国管理												沖縄県指定管理						
				H15	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30※	H31	R2	R3	R4	
成果指標	入館者数	目標	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,640,000	720,000	1,660,000		
		実績	人	2,487,500	2,684,832	3,023,328	3,100,730	2,790,649	2,715,090	2,720,887	2,811,480	3,043,776	3,230,468	3,408,521	3,628,332	3,784,132	3,718,446	3,320,018	602,503	620,115		
		目標比	%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	91%	84%	37%		
		H15比	%	100%	108%	122%	125%	112%	109%	109%	113%	122%	130%	137%	146%	152%	149%	133%	24%	25%		
満足度		実績	%													97.9%	98.3%	96.3%	96.2%			
財務指標	指定管理料		千円														13,648	118,911	1,135,607	1,745,840		
	県負担割合(指定管理料/管理費計)		%														1.0%	1.5%	24.4%	48.8%		
	利用料金収入		千円														1,412,720	7,792,152	1,248,073	1,463,667		
	利用料金比率(利用料金/収入計)		%														99.0%	98.2%	45.6%	43.2%		
	収入計		千円														1,427,027	7,931,912	2,735,369	3,387,343		
	管理費計		千円														1,314,075	7,974,556	4,652,909	3,578,950		
	収支		千円														112,952	-42,644	-1,917,540	-191,608		
	収益率(収支/収入計)		%														7.9%	-0.5%	-70.1%	-5.7%		
	/単位	一人あたり管理コスト		円														353	2,402	7,723	5,771	
		一人あたり自治体負担コスト		円														0	0	645	2,569	
一人あたり利用料金収入			円														380	2,347	2,071	2,360		
参考値	沖縄県入域観光客数		人	5,129,700	5,705,100	5,892,300	5,934,300	5,690,000	5,705,300	5,528,000	5,924,700	6,580,300	7,169,900	7,936,300	8,769,200	9,579,900	10,004,300	9,469,200	2,583,600	3,274,300		

県への管理移管(H31.2)以前の
データ無し

※沖縄県による管理が平成31年2月から開始されたため、入館者数以外については、2ヶ月分の結果となっている。管理以前の入館者数については、国営沖縄記念公園事務所パンフレット参照



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

H29年度	
H28年度	
H27年度	
H26年度	

目標設定の考え方

※目標設定の根拠や考え方などを記載

H30年度	
H31年度	
H32年度	
H33年度	